

№907BASTOS 29. SE. LEMBRD. 1967. O PROGRESSISTAS BASTOS Nº 4976 SAO PAULO

バストス週報

第九〇八号
昭和四十一年
九月二十九日
発行

DIRECTOR
KUNITI MORI
REGATOR
SHION OHA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. POST. 112
PHONE 40
BASTOS
C. P.

ANUAL
N. CR #
7.00

旋風 39

養鶏家農

ピンチとくぐる

バストス産業組合及びグラウンジ、バス
トス組合サイロ建設のイナウグランドと
ウダラソンが、去る九月十六日(土)偶然
であるうが同日に行われた。
午後一時、大野養鶏場で二組合合同の
シユラスコ会が行われ、池を眼下に見る
しながら大野邸内のブリマベイラの花樹
下で催された。
サイロの外側は鉛引鉄板、内部は二
枚遮熱板の張られた近代的全装置で
ある。一基の直径五米、高さ十五米、四
千俵のミーリヨを入れるに足り、四基で
一万六千俵、約十萬キロ収容力がある。
各種の電気ボタンの操作でエレベータ
、エスカレーター、ピッカドール、粉砕
作業など思いのままに出来る由、工費は
総計二十四万コント、内半額の六〇%を
ブラジル銀行の融資にまち、四年償還と
いうから殆ど独力でやつてのけたも同然
である。両組合とも、様式、経営など殆
ど変りなく、狭い町のことだから銀色の
ピラミッドが遠くから望見できて結構一
俤観である。

サイロ建設の意義は、養鶏飼料中一番
多く消費されるミーリヨの安全貯蔵をホ
ーに挙げることにできる。これまで各養
鶏家が腐心し、これが対策にサイロ建設
を希望する声が高かつたが、巨額の費用
を要するので、容易に着手できなかった
ものである。
どの組合でもサイロを持ちたいである
うが、次々と重要施設が待っているの
中、手廻らぬことも実情である。今下
のミーリヨの値段が手頃の時、出来るだ
け多く買い占めて貯蔵しておけば、今下
の組合員は比較的安心が出来、組合運
営当事者に満腔の信頼をおくことが出来
る。農業の進展は、ここ四半世紀に驚く
ばかりの発達をとげ、旧式の運営方では
もうやって行けない。流行語で云えば
農業の合理化という極地へ来ている。工
シヤダに代つてトラクトールが登場し
、菜豆の進歩とともに安全且つ確実な収
穫を得るに列つた。養鶏事業も同一軌範
にある。養鶏業の進歩こそ、一般農業の
取前線を行くもので、鶏種の改良、対病

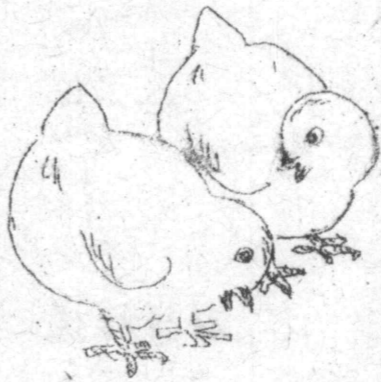
RHODIACIDA

ロージャー シーダ

ROVA-10

ローバー デイズ

鶏舎のワクモ退治の
特效薬
一般の作物の赤ダニ類
ブルゴン等の駆除に好評



飼料の補強剤として最も
適した抗生物質ローバミン
イナを含有
産卵増加 発育促進
フランゴの飼育に喜ばれ
て居ります
コリーサ、バタリー病の
治療に著効を示します

ロージャー 繊維化学工業株式会社

Sapataria Bastos

夏の外出 颯爽たる脚線美
それは靴から生れます
高級
安価
最新型のお靴の御用命は



早川靴店

電話 五五

素質の強靱と共に最大の収卵を期待する
所以であるが、緊要不可欠のミーリヨ、確
保の前提こそ経済面に於ける最要諦でな
ければならない。
飼料サイロの完成こそ養鶏家に課せられ
一大科目であるが、これはエンシヤダ
からトラクトールに移行したよりも、も
っと重要性のあるものである。

農務長官米植、これは、サイロとイン
クバドローの両イナウグソンのために
、忙中の一日を割いてバストスの招聘に
応じられたものである。長官一行は石橋
道ちやんの運転高級車でバストスより七
キロの地点、昨年春操業開始のコチア、
インクバドローに到着、つづいて約百台
の車が並びこむ。

このインクバドローは孵卵場と種鶏場
に分れているが、全部の場長を兼ねるの
が、百々瀬氏で、昨年末開設以来採配を
振っている。コチア組合がこの地をトす
る条件は、ニアルケルのもとまの地
、アスファルトで舗装し、エスタツシに
近いということであつたが、幸いこの條
件にピッタリである。
門を入ると右手へイアクリ駅寄り）が
種鶏場、左手が孵卵場である。目下十五
基の孵卵機が活動し、月産十三万羽のピ
ントが生産される。肉鶏種に今の所重点
をおいているようだが、屠殺場が一日二
万の処理をする目標であると、六十万羽
の孵化しないと追い付かなくなる。今やそ
の段階に入ったところ。
インクバドローは昨年末の竣工になる
が、完全を期するためには、まだ一年を
要するといふ。これまでの建設費二〇〇万
コント、完成までには尚莫大な金を要す
る。マンモス施設である。この大事業は
コチアという大組合があつて、はじめで
目論むことの出来たのだといふことは、
完全完成までの道中を維持していくこと
が容易ならぬことであることによつて知
られよう。
肉鶏養成は、処理に慎漏さなければ
必ず儲かる事業といふことである。食料
、ことに蛋白質供給といふ人間生活に直
結する養鶏事業は、目下税金その他の悪
条件に阻止されているが、将来必ずや天
地をおか翼下に収める一大食料生産事業
であることを疑われない。
因に養鶏事業にかかると流通税はブラジ
ルの七三%、アメリカの四%、日本は
〇%だそうである。ここにもまた改善
してもらわねばならぬ重大なポイントのあ
ることを忘れてはならない。
ピンチをくりぬけぬける為めの努力は一
日も休むことなく、講ぜられているであ
らう。

老眼鏡

を落した方におしらせ

去る九月十五日夜シネマ館通り、ポン
屋の前でメガネをひろいまして、心当
りの方は、とりにおいで下さい
バストス週報社

Vitamina A Tortuga
D.C.R. Coriza Cocciose etc.
咽喉病 カゼ コクシオーゼ ソノ他
Complexo Mineral Iodados
配合 ミネラル イオーダード
POLIVITAMINICO "TORTUGA"
うす皮卵を防ぐ 肉鶏は大いに肥える
代理人 小野 志
TORTUGA
COMPANHIA
ZOOTECNICA AGRARIA

御 礼
九月十六日(土)夜十二時頃当シツチ内
で野火発生いたしました。速早く多
勢の方々が駆け付けられ、消火に御尽力
下さいましたので大幸に到らず鎮火い
たしました。失礼乍ら紙を以て篤く御
礼申し上げます。
九月十八日 グロリア一區
溝畑多一郎

グロリア一區各位
グロリア二區各位
グロリア三區各位
グロリア四區各位
グロリア五區各位
グロリア六區各位
グロリア七區各位
グロリア八區各位
グロリア九區各位
グロリア十區各位
グロリア青年会
其他各位

御 禮
九月十六日(土)夜半突然野火発生しま
した。節、深更にもかかわらぬ、早速消
火のため御馳付下さいましたので、御
蔭で被害を受けるに到らず鎮火いたし
ました。偏に皆様の御助勢によるもの
と厚く御礼申し上げます。一々参上致さざ
すが失礼乍ら紙上を以て御礼申し上げます。
グロリア一區中 浦 成
グロリア二區 各位様
グロリア三區 各位様
グロリア四區 各位様
グロリア五區 各位様
グロリア六區 各位様
グロリア七區 各位様
グロリア八區 各位様
グロリア九區 各位様
グロリア十區 各位様
其他 各位様

YAMAZAKI & ASSANO LTDA

RUA HUMBERTO DE CAMPOS 134 RINOPOLIS C. POSTAL 85 FONE 8

MAQUINA DE LAVAR E CLASSIFICADOR DE OVOS

RUA PROF. SUD. MENUCCI 581 RINOPOLIS

自動給餌機製造

本洗卵機の優秀なことは
養鶏家の皆様がすでに実證されてい
このたび四種類新型の製造を始めまし
値段は二千五百コントより各種あり
月賦の御相談にも応じます

御注文により如何様にも
製作いたします

山崎淺野商会

洗卵機製作場

電話 八五八
郵便 八五八

リンポリス市ルア プロフェッソール スト・メヌシ 五八一

御用命の節は左記へ御願ひ致します

パウリス タ全線総代理人

丸山敦

バストス 郵便 二十七

石橋農具研究所様リノポリス分五場とは関係ありませんので
念のため御知らせいたします

1967年八月分ノバス入の気温と降雨量 フラッシュ会、測候部

項目 日	気温 °C	湿度 計°C	湿度 %	最高 風速	最低 風速	降雨量 mm	風向	天候	雲量
1	25.0	20.0	58	32.0	17.0		E	○	
2	24.0	25.0	90	31.0	11.0		N	○	
3	33.0	15.0	37	32.0	11.0		N	○	
4	18.0	15.0	68	30.0	12.0		W	○	5
5	18.0	14.0	59	28.0	14.0		W	○	8
6	20.0	15.0	53	28.0	15.0		E	○	7
7	22.0	17.0	55	29.0	15.0		E	○	1
8	22.0	17.0	55	30.0	15.0		E	○	
9	25.0	17.0	39	32.0	12.0		E	○	
10	24.0	19.0	57	31.0	14.0		E	○	3
11	25.0	20.0	58	34.0	17.0		N	○	5
12	26.0	21.0	58	34.0	19.0		N	○	3
13	20.0	18.0	79	27.0	17.0		S	○	9
14	23.0	19.0	40	32.0	15.0		S	○	3
15	26.0	22.0	66	33.0	19.0		S	○	5
16	26.0	20.0	52	35.0	16.0		W	○	
17	29.0	20.0	37	36.0	15.0		E	○	
18	26.0	18.0	40	34.0	17.0		E	○	
19	26.0	17.0	34	34.0	18.0		N	○	
20	25.0	16.0	33	33.0	16.0		N	○	
21	24.0	16.0	38	36.0	15.0		N	○	
22	27.0	18.0	35	37.0	15.0		N	○	
23	24.0	18.0	50	36.0	14.0		W	○	
24	24.0	18.0	50	35.0	17.0		E	○	
25	25.0	20.0	58	35.0	17.0		S	○	
26	26.0	18.0	40	35.0	17.0		N	○	
27	26.0	16.0	28	34.0	18.0		N	○	
28	25.0	17.0	39	32.0	19.0		W	○	
29	25.0	16.0	33	33.0	14.0		N	○	
30	27.0	17.0	29	35.0	16.0		N	○	5
31	28.0	18.0	30	35.0	15.0		N	○	3
合計	754.0	555.0	1498	1019.0	477.0				
平均	24.3	17.9	48	32.8	15.3				

○青年団に関する私の意見続

前承 比良葉子

先日の新聞に或る地方で五地区の青年団が一緒になつて、より強い力にするため、連合青年団にしたという記事が載っていた。北九州から見るとバスタースの場合、なくなるのではなく、名を連ねるといふだけだから、出来ないう事もないと思ふ。あれ程仲の悪い米、ソでさえ、平和共存という名目では、歩み寄りうとして、現在、私達も、もつと視野を広げて、考えてみませんか、バスターという小さな町のなかで、幾つも分かれるより一丸となつてやる方が、力も強くなるし、より良い事が出来るのではないか？、その場合、何も連合になつたから、何もかも一緒にしてしまえというのではない、布が縦横の糸で成り立っている様に、連合という縦の関係と、それぞれクラブはクラスで、その系統別との横横の関係は、それはそれで、つないで行けば良い。まして、縦横の関係の中で、お互いにライバル意識を燃やす事は会の向上条件の一ツだ。日本からの実習生が、バスターに来てもこの小さな町に、こんなにも組合があるという驚き、これを一つにしても、合理的

に出来ないものかと云つた人が居たそうだが、これは、私達には考えも及ばない大きな問題であり、おそれる不可能な事だと思ふ。大人になつてしまえば出来得ない何か、青年時代には有る筈である。利害関係の少ない青年団くらいは、純粋な若さの力で何んとか一つになれないものだらうか？、この短い青春に、思いやり、自分をぶつつけてみるのは、さつと素晴らしい事であり、その思出は老いてからも、さつと輝かしい物になる筈だと思ふ。聞けば、私達の幼かった頃の青年団活動は、とても活発だったぞうだ。私達は、二世三世になつても、後住者の子、開拓精神は捨てられないと思ふ。輝かしい歴史の爲にも、そして、これから青年になる者、そして、まずは自分自身の爲に、ここで頑張ってみよう。バスター中の青年が力を合せて頑張れば、今話題の町を挙げての会館建設にも一かけりでも手伝いが出来るとは、ないだろうか。

この会館も、遠く苦勞された大人達が自分の爲というより、むしろ、これからの世代を背負って立つ私達の爲に建てて呉れるのだと私は解釈してみよう。何かしら弁論の原稿みたいなものになつてしまつたが、若い仲間達の心に伝はるかでも、ひっかかる物が有つたら幸いと思ひ、記して、終り

死亡通知並に会葬御禮

夫、邦男儀去る九月十六日十一時頃不慮の事故に遭遇直ちにツパン病院に收容手当を受けました。たが其の効なく翌十七日午前四時死亡致し、同日午後五時自宅出棺、バストス墓地に埋葬致しました。

葬儀に際しましては御多忙中御遠路態々御会葬下さいまして、其の上過分なる御香奠、御供花を賜り厚く御礼申し上げます。

実は一々拝眉の上御礼申上げ可き処、何分取込中にて其の意を得ませず、失礼ながら紙上を以て厚く御礼申し上げます。

一九六七年九月十八日

バストススミルブラジル養鶏村

喪主

妻 大澤綾香

父 大澤勇七

母 大澤しむ

姉 林久

夫 林久

妹 手島道

夫 手島道

妹 羽田聖子

夫 羽田聖子

親戚代表ツパン

安永甚太郎

原中邦男

小林三男

横田正義

バストススミルブラジル養鶏村

白鳩会

バストス生長の家青年会

バストス生長の家誌友会

バストス連合仏教婦人会

バストス連合仏教会

バストス南米本願寺

PL教団バストス教会

バストス在住の皆々

ツパン友人の皆々

ファルツラ農友会

- 様 大澤綾香
- 様 大澤勇七
- 様 大澤しむ
- 様 林久
- 様 手島道
- 様 手島道
- 様 羽田聖子
- 様 羽田聖子
- 様 安永甚太郎
- 様 原中邦男
- 様 小林三男
- 様 横田正義
- 様 バストススミルブラジル養鶏村
- 様 白鳩会
- 様 バストス生長の家青年会
- 様 バストス生長の家誌友会
- 様 バストス連合仏教婦人会
- 様 バストス連合仏教会
- 様 バストス南米本願寺
- 様 PL教団バストス教会
- 様 バストス在住の皆々
- 様 ツパン友人の皆々
- 様 ファルツラ農友会

四十年振りに咲いた友情の花(三)
感激の二日間
長橋 智

九月五日、今日は愈々昨日会った友達も別れである。午前九時から文化センターで何か会合があり、其処で会う約束をしていくが、また時間が早いので、彼の爲に記念品を買って置こうと思ひ、シダデに出た。色々考えたまふ、いつも皆に贈つて喜ばれるワニ革細工のシリーズに決めた。彼が国会に臨むにも、又進んで大臣の席につく時も、何人様の前に出してもはずかしくない、又、私の記念に想ひ出して貰えるものを送んだ。同時に同品のバンドも加え、一揃えとした。少し彼に派手な色で有ったかも知れぬが仲々揃わなかつた。名刺を付けて用意は出来上つた。旧友八木徹雄君に贈る。時間は九時を過ぎてゐる。文化センターへと急いだ。二階に上り、事務局の処へ行くと、人があちこちして騒然としていた。足立さんに事情を話した。藤井さん、奥から宮坂さんも出て来られた。私は今日の催しの内容などを聞き、自分には八木君とは子供の時から友達で、バーストスから会いに来た者ですが、会合の傍聴を許して下さいませんかと頼んで見ると、あゝ良ろしい、と快よく迎えて呉れた。

其のうち文協の理事さん達が次々に見え、延満、斎藤宏志、森田芳一氏等につづいて、各新聞社の記者達四五名がどやどやと入つて来た時は九時半であつた。私はソツファに掛けて待つてゐると、此の人は八木先生の子供の時のお友達だぞうだといつて皆から握手を求められた。そのうち総領事館の案内役を先頭に三人が入つて来た。八木君が年少者だけに、最後、其の次に昨日会つた浅山領事がいた。私は立ち上つて八木君と挨拶を交した。

宮坂会長が三人の議員にそれぞれ挨拶をして貴賓室へ請じ入れた。向う側のソファに三人を着席させ、宮坂さんと領事さんが、私にどうぞと云つて、八木君の脇に席を薦めてくれたので、一寸躊躇のたか、八木君の横に坐つた。領事の人達が向いて着席すると、記者達がそれぞれ取り巻く。才一番目が桜田團長、年齢は六〇歳位、七回当選、前通産大臣、一九七〇年閣内閣の副委員長、次は大阪出身の、五回当選原田議員、次が八木君で、四回当選で前文部政務次官、現内閣豫算委員、理事、文教委員、理事と云ふ肩書である。先ず落付いてから宮坂さんの話が始

金一封 御礼
故大沢邦男様の御葬儀に際し香奠返として御寄附下さいました篤く御礼申上げます

大沢綾香様 PLバーストス教会

金一封 御禮
故大沢邦男様の香奠返としてこの御寄附有難く拝受いたしました。御冥福を御祈り致します。

生長の家バーストス誌友会 白鳩会 青年会
大沢綾香様

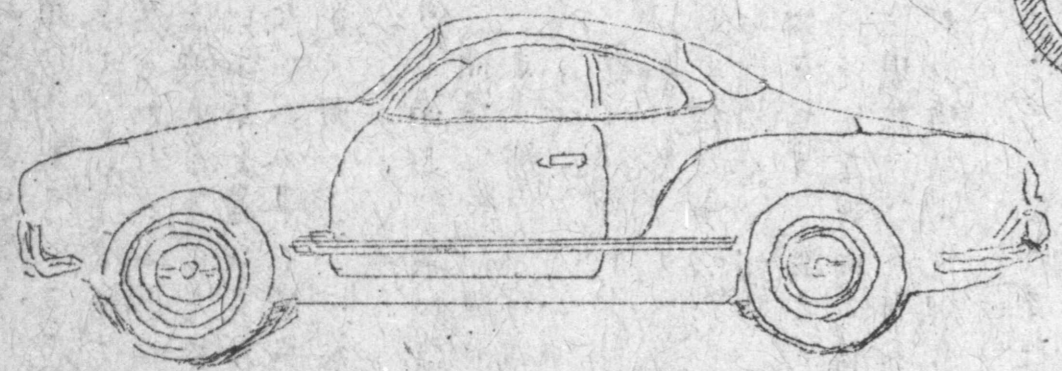
御礼
金三十コントス也
御病氣全快祝として御寄贈下さいました。謹んで拝受いたします

内馬場七郎様
バーストス柔剣道連盟

まり、挨拶が済むと、真剣に文化センターのフロアに於ける必要性と、アウジトリオ増設について述べられ、皇太子敬迎の時の残金を元に、より立派な増築を致したいので、何分日本政府からの補助金を、との用件であつた。三代表も真剣に宮坂さんの説明を聞いていた。八木君は時々要所を手帖に記入していった。宮坂さんの説明が済むと、桜田團長が先ず口を切つて、吾々から何か云わねばなるまいと、雄弁に話し始めた。その話を要約すると、三議員の四々国訪問の目的は、日本が戦前に計画していたオリソビツクが、残るは一九七〇年に大阪で開催される万国博覧会、その準備などがあり、今開かれてゐるカナダの首府モンテリオールの博覧会を調査し、そのついでに外の国を訪問、PRに務める重大な使命があり、という。中でも原田、八木議員も言い加えた次の様な話は翌日の三新聞余り出なかつたのであるが、吾々には耳寄りな話なので紹介することにしよう。そもそも万国博覧会とは吾々が考えてゐる様な、立派な品物や、珍らしい製品を飾らふりふれた博覧会ではなく、人種の調和と文化の象徴として云つた様な国境と民族を超えた偉大なものが使われよう

ヴォルクスワーゲン

カルマンギア 150



ピックアップ

コンピ

California Motor S/A

O SWALDO CRUZ C.P.

銀行融資の御世話致します

小野 志 まで御相談下さい

世界の高級車

寄稿

『亡き弟のこと』

福 瀧 温

今年の十月廿六日は、弟警の廿五回忌に当る。満廿四年に在る訣である。仏式の法要は、聞く処では、宗派に依り、其の相違があるらしいが、大体廿五回忌を営んで、一応打ち切りにする。そのある。或は又、三十三回忌迄する処も、依り、其の後は、其の家の事情や格式に依り、又、有名度や存在価値等に依り、何十回忌とか、何百年遠忌とか挙行される由である。

此の仏式の敷え方、或は唱え方と言つた方がよいかも知れないが、一ヶ年たつた時は一週忌と言つて、二ヶ年たつた時は三週忌と言つて、此の唱え方には私は賛成出来ない。一年たつた時は一週忌と言ひながら、二年たつた時は何故三週忌と言ひながら、一年たつた時は一週忌、これは當り前の話であるが、それでは二年たつた時を何故二週忌と云わすに三週忌と言ひながら、反対に二年たつた時を三週忌と言ひながら、一年たつた時を二週忌と言ひながら、一年たつた意味から、二週忌或は二回忌を飛ばす数え方に反対である。

丁度赤ん坊が生れたう直ぐに一歳と言つた。十二月廿一日に生れた。お正月が来た。二歳と言つて、胎内に居た期間を約一年と計算すれば、お正月が来たう二歳になつたと言つてもおかしくはない。思われぬが、何れにしても一月生れ、十月生れ、二月生れ、大方一ヶ年の開きがある。戦後はアメリカ式が取り入れられて、満で数える様になり、そのう変換な差はないが、そのう、別に文句を付ける氣持はないが、何の疑いも持たずに、寺から野へ、天の下り式押し付けを其の終極呑みにして、天の国民の習慣、或は無智が、上の言つた事、これ従うの無條件服従となつて、連二無二大東亞戦争に迄突っ走らされた。一要因となつて、思われる。徳川三百年の武士政治が、一般人民に口を開けさせず、生意気な口をきいたり、反抗する態度が一寸でも見えれば、無礼討ちにするという、武士の特権階級の横暴さが、何事にも、長いものには巻かれぬ。そのう、絶対服従の習慣を植え付け、そのう、悪習慣が、一つの伝統の如きものになり、一般国民の性格の中に溶け込んで、政治に對する無批判、無關心、から無理解と言ふ事になつて来た。大きな理由と思ふが、前記の様な変換な習慣は

一日も早く改める可きだと思ふ。話が始めから横道にそれてしまつたが、此の弟の事を覚えて下さる方は、もう数える程しか居られないと思ふが、下度弟の廿五回忌を迎える事になつたので、ウ口覚えの思ひ出話を書いてみる事にしたので、詰らない人の事には興味は持てないでしようが、暇つぶしに読んでやつて下さい。

尤も古い事であり、弟と一緒に話合つた事も少ないので、間違ひや、記憶違いもあるだらうと思ひますが、それは御勤弁願う事にしたい。

一九三三年六月、私はバストス製糸工場に働く様になり、弟は暫く一人でG I 区に残り、阪東さんの処で働いていた。弟は私とは正反対な性格で、如才ない社交家であり、人見知りせず、誰とでも直ぐ友達になるので、そんな理由で特別の付合となつた人に、現存、バストスの町で商売をして居られる皆様よく御存知の前山義雄氏がある。

何時迄も日傭人夫としていたのでは、独立出来るかどうか、若い時は二度と来ないの、胃腸もときには必要と、前山氏と共同で、G I 区の奥で、棉作の歩合作を勧めた。今の水本彰氏の土地よりもう少し奥で、得丸さんの土地であつたか、或は日本へ帰られた一番瀛さんの土地であつたか、其の片手間は、あの辺の沼地を開墾して、水田を作つて試験的に水稻作つていた。ソルト口同志二人で、随分不自由であつたと思ふが、良く頑張つて働くの、に感心してしたが、そのうちに、弟が変な病気に罹つた。病院で診察を受けた処、マレツタという診断。そんな馬鹿な事があるものか、バストスは絶対に健康地で、マレツタやフエリ、ダブ、ボト、と言う、風土病がある筈はない。そういふ風土病のないことを看板にして土地を売りに出してゐるのであり、今迄にそんな病気の出た事も聞かないと、あの頃は細江ドットールであつたか、笹田ドットールであつたか、薬局には、今のバストス薬局の佐々木さんも居られた筈だが、お医者さんに喰つてかかつた。

然し、病氣は病氣だから仕方がない。此の薬を呑んでトラツタせよと、お医者さんに諭されて、キニ、ネ、刺など呑んで不精無精治療して、やつと治つたが、そんな風で前山氏との共同事業も一頓坐して、一年位の付合で別れる様になつた。そして一般の独身者の例に洩れず、間もなく町に出て働く事になつた。前山氏も棉作り歩合で一才とした金を握り、これも町に出て商売を始められた。

右のマレツタの件は、考えて見ると、全然根據のない話でもない。何故なら、あの夕はリア道は、今こそ人通りが盛

金一封 御禮
故大沢邦男様の香奠返しとして拝受致しました。厚く御礼申上げます。
バストス南米本願寺

大沢綾香様
御禮
バストス仏教婦人会

金一封 御禮
御夫君の御葬儀に際し香奠返しとして御寄附。有難頂戴致しました。
バストス仏教婦人会

大沢綾香様
御禮
バストス連合仏教会

金一封 御禮
御夫君邦男様の香奠返しとして御寄附。ありがたく頂戴致しました。
バストス連合仏教会

大沢綾香様
御禮
バストス連合仏教会

金一封 御禮
右は故大沢邦男様の香奠返しとして御寄附。下さり、深謝致します。
バストス連合仏教会

大沢綾香様
御禮
バストス連合仏教会

て、G I 区の人を通る丈と言つてもよいが、其の頃は、サンルイスから、リーノポリスを経て、ニアポランツヤ、今のピラツキーに出で、ノ口エステ方面に通ずる主要道路であり、開拓当初の人氣もあつて、可成りのモビメントがあつた。従つて、ノ口線方面から流れ込んて来る日傭人は、殆ど例外なくあの道を辿つて来た。白いパン粉の袋一個に全財産を包み込んで、テクテクとあの淋しい原始林の、人間の背丈一寸の小笹の繁つてゐる中の道を歩いて来て、良い加減草薺れた頃、やつと人家の見えるグロリア区に辿り着く。マレヤシ、やつと人里に着いたと安心して、早速其の辺の入植者の処に立ち寄り、寄つて仕事を探す。泊り込で日当三ミルなら、何処の家でも傭つて呉れるので、三ミルの目当に彼等は大喜びで其の辺の家を落ち付く。

其の頃ノ口エステ方面では、大抵日當は一ミル五百位で、二ミルは餘程好條件であつた。それが三ミルと言うのだから、柵から牡丹餅とでも思つたのか、皆張り切つてよく働いていた。その頃私は思ひがけない事情でノ口エステ方面を見て歩く機会を得て、あちらの状況は詳しかつた。

以下文字へ

強力なムニシッピオに

バストス郡は何しろ地域的に狭小で生産物の上る割合に役所の実収は少く役所の経済も弱かった。だから州政府にたよらなければならぬ。近年財源が色々とかかり益々やりにくくなって居る。それが流通税の戻り分配が貰えるといつて、国家の財務方針が郡の経済を先んじてくれると決つては居らず、今の所安定してはいないものである。本年中には三十万ポンド(約千)の郡の収入となると思われ、が、去年は果してどうなるか。この見通しがつかない内に、この財源を使用するのは危険である。土木費に例をとつて見ると、去年は僅か一万ポンドの予算であつた。この僅少の予算では何程の仕事も出来ない。本年はこの数倍に増加したが、まだ十分とは云えない。これまでのように郡の財政がラツコでは道路修理も思うにまかせず、現在では普通以上の道路でも一たん大雨の害を受けると忽ち大きな修理を食うに到る。であるから強力なムニシッピオになるためには先ず財政を整えなければならぬ。今年からコントリブション、ヨリアといふ新税をシツアンテに負担して頂くことになつた次第である。これは道路修理に対する準備金として、主に資材の購入にあてる筈である。従来の旧市役所を修築して居るの完成の上は、土木課をそこに移し、車門に当らせるつもりである。

と市長さんは道路修理に対する抱負を語つたが、新市庁舎について、
「新市役所を作ろう」というのは私の夢であつた。セラレオリオを置かないで、その仕事を積立てて着手したものです。州の高官役人が来訪されても従来の庁舎では、いかにも貧弱だつた。やはり政治の中心となる処は、それだけ威容を備えていなければならぬ。いっつ消えてなくなるか判らぬ。うなムニシッピオでない。堂々と有展するバストスを愛する人たちの心のより所でなくてはならないと思つて居る。

又、イニシヤ前の美化について、
「市内の歩道を構築した時のレンガなどの資材があつたので、それだけを購入して工事を起した。大した費用をかけず、すへで居る。歩道は市内全部完成した。これは各家主の負担となつて居るので、市役所の赤字ではない。」「ス々
と市長は、おせちやお上手を云わない人々の時には誤解されることもあるらしい。が、よく腹藏のない意見をきくと、理論豊然と物事を割り切り、いかんも事をしな人であることがよく判る。郡財政について、は正確な数字の上に立つて処理する名市長である。

御案内

九月二十八日
午後七時から

ひがん法要

おつとめの後 御法話二座
皆々様 お繰合せて御参詣下さい

バストス南米本願寺

御禮

一金二十五ポント也

御令園様四十九日御法要に際し追善のため御寄附下さいました。ありがたく御礼申上げます。

バストス仏教婦人会

高薄雄様

御禮

金一封

故本田正雄御葬儀香奠返しとして御寄附下さいましてありがとうございます。

エスペランサ区

本田たね子様

御禮

金一封

バンク使用の謝禮としていただきました。

バストス南米本願寺

森川悠一様

Cine Bastos

九月廿六日(火)廿七日(水) 雨夜とも八時
 松竹 伴淳三郎 倍賞千恵子 桂小金治
 天然色 純情娘の初恋 頑固親父のよろめき 明朗下町喜劇の決定版
 芳村真理 淡島千景
 東映 水戸黄門 中村錦之助 月形龍之介 市川右太衛門 大友柳太郎
 天然色 絢爛痛快天下一品、これが東映のお家芸
 大川恵子 片岡千恵蔵 伏見扇太郎
 九月廿九日(金)三十日(土) 九時半
 高橋英樹 笹森礼子
 日活 雨の中に消えて 吉永小百合
 天然色 清らかな、それは宵空に輝く星の光りにも似て、一場々易い純情巨篇！

Aviso de

十月三日(火) 四日(水) 雨夜とも八時
 日活 警察日記 三島雅夫 三国連太郎
 天然色 森繁久弥 伊藤雄之助
 あなたを「心のふるさと」に誘う映画が着ましました。
 仲間たち 浜田光夫 松原智恵子
 舟木一夫 菅井一郎
 明るい唄を、青春を、強く生きよう人生を、若い仲間が寄り集って進む希望の火空へ
 十月六日(金) 八時 七日(土) 九時半
 東宝

A.C.E.R.B

おしらせ

日時 来る十月一日(日)夜八時
 場所 バストス産業会館
 派米農業実習生
 山中敬三君
 佐藤新一君

北米カリフォルニアの農業実態
 を美しいスライド映画を
 通じてお話しいたします。
 興味津々

一般の御来覧をのぞみます

(入場無料)

主催 バストス連合青年団

日語学校生徒作品

しけん

水本公子

わたしには、しよ学校一年生からまい
 とししけんがありました。
 一年生のときは、ほとんどみんな九十
 よりすこしたかいてんで、一つだけ三十
 てんがあつて、べんききょうだつたた
 かこねえさんにちよつとしかられました
 。
 三年生になつてから、すこしてんがわ
 るくなりました。ある日、たかこねえさ
 んが、こんなやくそくをしました。
 もし、八十でんよりたかいてんをとつ
 たら、マツサをおごつてくれ、ニフマツサを
 九十でんよりたかいてんを、ニフマツサを
 おごつてくれるやくそくでした。
 わたしは、がんばつて九十でんいじよ
 うとり、やくそくどおりおごつてもらい
 ました。三年生から四年生へとおるとき
 は、はじめに二ばんになりました。
 そして五十ページのちよめんをニサ
 つもらいました。けれども中学校はむつ
 かしいものです。この月のいちばんはじ
 めのしけんは、ききょうでした。
 そして、このつぎは、火ようびにあり
 ます。

絡